

**製品名: リボソームタンパク質 L5 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17168**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC/IF 1:100-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	34kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RPL5
別名	RPL5; MSTP030; 60S ribosomal protein L5
遺伝子 ID	6125.0
SwissProt ID	P46777
免疫原	抗血清はヒト RPL5 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 161-210

**背景**

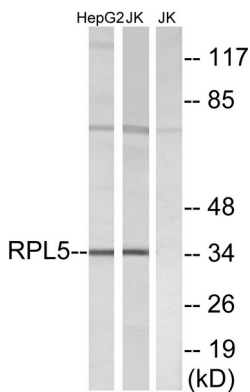
タンパク質合成を触媒する細胞小器官であるリボソームは、小さな 40S サブユニットと大きな 60S サブユニットから構成されています。これらのサブユニットは、4 種類の RNA と約 80 種類の構造的に異なるタンパク質で構成されています。この遺伝子は、60S サ

プユニットの構成要素であるリボソームタンパク質をコードしています。このタンパク質はリボソームタンパク質の L18P ファミリーに属し、細胞質に局在します。このタンパク質は 5S rRNA と結合して 5S リボ核タンパク質粒子 (RNP) と呼ばれる安定した複合体を形成します。この複合体は、リボソームに結合していない細胞質 5S rRNA を核小体へ輸送し、リボソームへと組み立てるために不可欠です。このタンパク質は、カゼインキナーゼ II の  $\beta$  サブユニットと特異的に相互作用します。大腸がんにおけるこの遺伝子の発現は、隣接する正常組織と比較して変動することが観察されていますが、発現レベルと疾患の重症度との相関関係は認められていません。疾患: RPL5 遺伝子の欠損は、ダイヤモンド・ブラックファン貧血 6 型 (DBA6) [MIM:612561] の原因です。DBA6 は、通常乳児期早期に発症する先天性非再生性低形成貧血であるダイヤモンド・ブラックファン貧血の一種です。ダイヤモンド・ブラックファン貧血は、中等度から重度の大球性貧血、赤芽球減少症、および悪性腫瘍のリスク増加を特徴とします。ダイヤモンド・ブラックファン貧血患者の 30~40% に低身長および先天異常が認められ、最も頻度の高いものは頭蓋顔面異常 (ピエール・ロバン症候群および口蓋裂)、母指異常、および泌尿生殖器異常である。機能: rRNA の成熟と 60S リボソームサブユニットの形成に必須である。このタンパク質は 5S RNA に結合する。類似性: リボソームタンパク質 L18P ファミリーに属する。

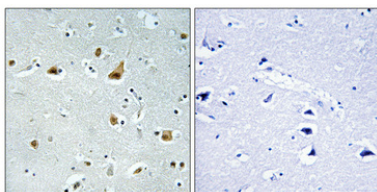
## 研究分野

リボソーム;

## 画像データ



RPL5 抗体を用いた Jurkat 細胞および HepG2 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。